

令和3年度（2021年度）学校版環境ISOへの取組

＜ 氷川町立宮原小学校 ＞

1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言	 <p>児童集会で取組の提案</p>  <p>各学級の宣言掲示</p>	<p>オンライン児童集会で、環境美化委員会が『環境ISO』を宣言した。</p> <p>〈児童宣言〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○電気と水の無駄遣いをやめます。 ○食べ残しを減らします。 ○落とし物をなくします。 ○アルミ缶・ペットボトルキャップを集めます。 ○一人一鉢花いっぱい活動を始めます。 <p>〈職員宣言〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自然に親しむ子どもを育てます。 ○ゴミを減らします。 ○省エネに努めます。
行動	 <p>牛乳パックに種蒔き</p>  <p>植え替え</p>  <p>ボランティア活動</p>  <p>資源物回収</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○全学年で「一人一鉢」活動の取組を開始した。1年生は朝顔とチューリップ、2年生はミニトマトとパンジーを育てた。3～6年生は、日々草・マリーゴールド・千日紅・ケイトウ・ひまわりを学級毎に選び、牛乳パックを活用して種から育てた。鉢に植え替え校門から児童昇降口に置いて育てた。冬は、ノースポールと葉ボタンを種から育てている。 ○6年生は、落ち葉の時期に落ち葉掃きをした。最初は少人数だったが日を迫う毎に参加人数が増えた。その落ち葉は、腐葉土として活用する。 ○4～5年生は、氷川町の増え続ける「ゴミ」について考え「ゴミ減量化標語」を書いた。 ○給食委員会は、給食の残食チェックを行い、食のロスを呼びかけた。学級毎にチェックシートを作り放送で結果を知らせた。 ○環境美化委員会は、「一人一鉢」の水掛を補った。千日紅の種を取り、地域の方にプレゼントする「ありがとうございます花の種袋」を作った。また、資源物回収を行った。アルミ缶は50kg、ペットボトルキャップは16kg回収できた。キャップは、「世界の子どもたちにワクチンを届けようキャンペーン」に

	 <p>感謝状 米川町立宮原小学校 様 この度は、「ペットボトルキャップで世界の 子どもにワクチンを届けようキャンペーン」 にご協力頂き誠にありがとうございます。 これからも当キャンペーンにご協力頂きます。 宜しくお願い申し上げます。 ●キャップ回収量: 16 kg (ポリオワクチン約 10 人分) ニコニコかみ</p> <p>キャップの感謝状と手作り門松</p>	<p>納め感謝状を頂いた。これら資源物の回収には地域の方のご協力もあった。</p> <p>○職員は、紙資源節約のために裏紙使用に努めた。情報の共有を校内ラインで行い、学校通信・学級通信などは学校ホームページで発信した。</p> <p>○スクールサポーターや地域の方が、「一人一鉢」の葉ボタンを活用して門松を作られた。</p>
記録	 <p>振り返りの見える化</p> <p>一人一鉢(夏)成長の記録</p>	<p>○自分たちの学級の宣言目標を常時掲示した。そして、学期毎にアンケートを行い集計して円グラフで掲示した。</p> <p>○環境美化委員会が、月目標を具体的に掲示した。</p> <p>○月毎の水・電気使用量を棒グラフにして掲示した。紙テープを使い昨年度と今年度の比較をした。</p> <p>○種の成長を時系列で掲示した。また、夏休みの花の様子を写真で紹介した。</p>
見直し	 <p>アンケート集計と比較掲示</p>	<p>○自己達成をもとに学級目標達成度を見える化した。集計を教師主導で行った場面が多かったので、次年度からは、委員会の児童にエクセル等の指導を行い実行できるよう場の設定と時間を確保する。</p> <p>○アンケートと合わせて個人の振り返りカードを作成する。</p> <p>○SDGs のマーク掲示だけではなく 17 項目を児童と共に考える時間と場を設ける。</p>

(2) 成果と課題

成 果	課 題
<p>○「一人一鉢」の活動で、児童は花の名前や種の形に興味を示した。常時学校に花が咲いていることで潤いのある安全な学校として環境作りにつながった。</p> <p>○苗作りや掲示物作成が環境美化委員の活動意欲向上につながった。</p> <p>○「ありがとうの種袋」が沢山できた。お世話になった方へのプレゼントに活用する。</p> <p>○学校ホームページや裏紙の活用等で紙使用量が減少した。また、教師の働き方改革の 1 つになった。</p>	<p>○ゴミ減量の確かな目標を掲げるため、ゴミ袋の使用枚数などを数値化する。</p> <p>○コロナ禍でも電気や水の使用量を抑えることを児童と共に考える場の設定をする。</p> <p>○児童が活動するとき「3密」にならないよう児童の動線を意識した活動計画の作成を行う。</p> <p>○「SDGs」17 の項目の職員・児童への浸透を図る。</p> <p>○学校ホームページなどを活用し、活動の発信を行う。</p>

